

5月のテキゴト

5月18日（木）環境教育プログラム「生き物自然観察」

5月18日（木）午前千代田小2年生61名を対象に、環境教育プログラム「生き物自然観察」が実施されました。当日は予報どおり真夏を思わせるような暑さとなりましたが、子供たちは千代田小から環境学館いずみまで、予定の時間よりも早く、元気に歩いて到着しました。

すぐに高麗川の堤防まで移動し、自然観察の開始です。本日の講師は、川越市にある環境総合研究所



の若い男性職員2名。はじめにヘビやハチ、トゲのある草の葉など野外で注意しなければならない危険な生き物や、観察の方法の説明がありました。

そしていよいよ観察です。今回は普通の観察ではなく、「生き物ビンゴゲーム」。講師の先生からゲームの内容の説明があり、子供たちは熱心に話を聞いています。どんなゲームかというと、升ごとにトンボやダンゴムシ、空を飛ぶ鳥などの課題が入った5×5のビンゴの表を子供たちに配布し、観察をしながら見つけたものを、その都度講師やボランティアに報告して確認のハンコを押してもらい、ビンゴを完成させていくものです。

先生から観察の場所の範囲やトイレなどの注意事項があり、班ごとにプラスチックケースと捕虫網を渡され、いよいよ観察の始まりです。はじめのうちこそ戸惑っている様子でしたが、すぐに慣れて暑い中でも元気に観察を行い、時間内にたくさんのビンゴを完成させていました。

K.K